



若竹だよい



【私たちの願い】

- ① よろこんで与える人間となろう ② いのちを大切にする人間となろう
③ こころ静かに考える人間となろう ④ 使命に生きる人間となろう ⑤ 規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業

- ① 四国八十八ヵ所巡礼者無料宿泊&お接待 ② 講演会・シンポジウム

【巻頭言】 児童心理治療施設とは

園長 宮脇 景子

9月12日、13日に広島県で開催された全国児童心理治療施設職員研修会に職員2人と一緒に参加しました。今回の研修会は、中四国ブロックの施設が実行委員を担うことになっており、当園も協力させていただきました。当園職員は、研修2日目の直接処遇職員の情報交換会の企画チームに入り、話し合いを進めました。当園職員の発案で、テーマが「中学生に児童心理治療施設のプレゼンテーションをするなら」に決まり、ありがたいことに司会も務めさせてもらいました。例年とは異なるテーマでしたが、活発な意見がたくさん出て、良い会議となったと聞いています。何故そのようなテーマにしたのかと職員に聞くと、「児童心理治療施設の認知度を高めて、人材確保につなげたい」という回答でした。施設長会議でも全国児童心理治療施設協議会のキャリアパス部会においても同様な議論があります。こういった地道な努力がこの先の児童心理治療施設の未来につながっていくと信じています。

某テレビで放映された番組のチャリティーランナーだったお笑い芸人のやすこさんも自身が育った場所である児童養護施設を知ってもらいたいと強い信念を抱き、見事完走しました。施設や入所児童を知るきっかけはいつでもどこであるか分かりません。そういったきっかけをできる限りたくさん作っていくことが何より大切だと思っています。一人でも多くの方が施設を知り、社会全体で子どもを育む社会が実現してほしいと願っています。

ふれあいバーベキュー

9月7日に高松紫雲ライオンズクラブの方々がバーベキューパーティーに招待していただきました。毎年ご招待を受けており、子どもたちはバーベキューパーティーを楽しみにしていました。9月とはいえ、まだまだ暑い中、ライオンズクラブの方々が鉄板で焼きそばやお肉を焼いて振舞ってくれました。



去年は猪肉があったことを子どもたちは覚えており、「今年も猪肉あるかな」と期待しながら参加していました。今年は猪肉の他に鹿肉も準備して下さり、子どもたちは「これは何の肉？」と聞き、楽しみながら食べつつ、「めっちゃ肉、柔らかいな」と嬉しそうに話をしていました。また、ライオンズクラブの方々と笑顔で会話をしていたのが印象的でした。

最後には、豪華景品が当たるくじ引き大会があり、子どもたちは大はしゃぎ。当たった景品を大切に持ち帰り、「この景品、欲しかったんよな」、「来年はもっと食べようかな」など早くも来年の開催を期待していました。毎年、子どものためにありがとうございます。



9月のハッピーバースデー

9月は中学2年生の男の子と中学3年生の女の子の2人が誕生日を迎えることができました。

誕生日を迎えた子どもは、自身の好きなメニューを選んで手作りケーキも準備をしました。食事開始前に職員の声を先頭にしてみんなでバースデーソングを歌うと照れくさそうにしていました。素敵な一年になるように一緒に頑張っていこうね。



FC 今治里山高校との交流

9月13日に FC 今治里山高校の方と交流する機会がありました。学校のカリキュラムの一環で、お遍路の体験を6日間かけて国分寺から大窪寺を歩いていました。遍路小屋で宿泊すると聞いたため、当園の子どもたちがお接待させてもらいました。年齢が近い高校生がチーム一丸となり、1つの目標や目的のために頑張っている姿に子どもたちは興味津々でした。

その後、当園のグラウンドでサッカーを教えてくれることとなり、一緒にミニゲームをしながら交流をしました。礼儀正しく、年齢以上に大人な印象を受けました。また、ぜひ遊びに来てほしいです。



花火大会

9月16日に香北マリンフェスタの花火を観賞しました。五色台でベストスポットを見つけ、周りの人に気を遣うことなく、ゆったりと花火観賞ができました。雲がない、まさに花火日和だったので、目の前に広がる視界いっぱい大きな打ち上げ花火が映りました。今年は子どもたちと一緒に3回花火を見ることができましたが、子どもたちは「来年はもっと花火見たい」と早くも意気込んでいました。



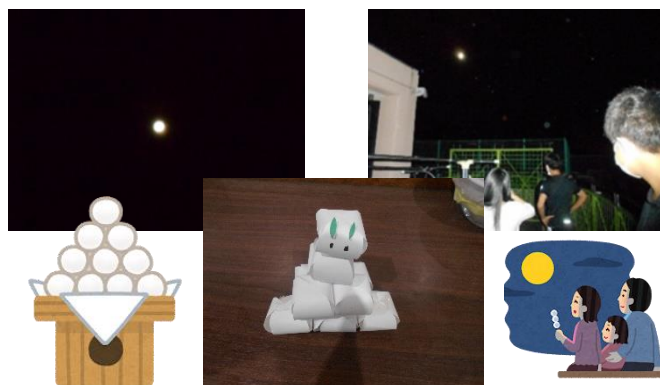
お月見



9月17日は、中秋の名月に際してお月見をしました。「綺麗な満月のお月様が見たい」と子どもたちからの意見を受け、簡単なお月見会を開催しました。

子どもたちは、「今日、お月様見えるかな?」、「お月様って満月?」とワクワクした気持ちでベランダに出ると南の空に満月が幻想的な雰囲気で光っていました。子どもたちは、「見えた」、「綺麗やなあ」、「何か少し怖い感じもするかも」とみんなで思ったことを口にしながらゆっくりと月を見ていました。

また、おやつには、みたらし団子を食べ、十五夜を全員で堪能した1日となりました。



先月の過ごし方

9月上旬は残暑が続きましたが、9月下旬に入り寒暖差が激しく、体調管理が難しい日が増えてきました。そんな日が続いても子どもたちは元気いっぱいです。

9月上旬は15時のおやつにかき氷を食べるほど暑く、グラウンドでの長時間のスポーツは控えていました。下旬になると日中でも比較的涼しく、グラウンドでサッカーやバスケット、鬼ごっこなど日が暮れるまで遊んでいます。

また、園内の掲示物も秋仕様にしています。子どもたちと一緒にみじなどを折り紙で作り、壁面装飾をしています。園内の事務所前には、写真のような装飾とともに行事での写真を掲示し、季節を感じることができるよう工夫しています。一度見る機会がありましたらご覧下さい。



食事の様子



職員での調理が始まって約3か月が経ちました。子どもたちの健康や栄養を考えながら、心を込めて料理を作っています。

子どもたちに、最近のメニューで1番美味しかったのは何かを聞くと、1位が先月の誕生日メニューのパン格拉タンでした。パン格拉タンを初めて食べた子が多かったようですが、子どもたちの記憶に残るほど美味しかったメニューだったようです。

厨房では、まだまだ試行錯誤を重ねながら調理を行っています。少しでも子どもたちに「美味しかった」と言ってもらえるような食事が提供できるように職員同士協力し合って調理していきたいと思っています。

9月行事

9月7日	ふれあいバーベキュー
9月13日	FC今治里山高校と交流
9月16日	香北マリンフェスタ in 香西 花火大会
9月17日	お月見



在籍人数

令和6年10月1日現在

区 分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	4	0	4
中学生	6	2	8
合計	10	2	12



編集後記

今年度が始まってもうすぐ半年がたちます。個人的には半年がとても速く感じました。きっと残りの半年もあっという間に過ぎていく気がするので、一日一日を大切にしていきたいと思います。

10月に入り、朝夕は肌寒くなってきました。体調を崩しやすい季節なので、子どもたちの健康管理に留意していきたいと思います。また、衣替えの季節でもあります。身体が日に日に大きくなっている子どもたちが多いので、早めに季節に合った衣類を準備していきたいと思います。(松下桃)

第451発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮脇 景子



五色台分校だより

【 身だしなみ教室 】

小学校・中学校に分かれて養護の先生から身だしなみ教室が開かれました。

身体の変化に合わせた下着の選び方や下着のつけ方などの話をしました。

ワークシートを手に、どの児童・生徒も真面目に話を聞いていました。



【 工作活動 】

小学校では、今、工作活動に熱心に取り組んでいます。センサリーボトル、カラーライス、ハンコづくりなど、様々な作品ができています。

児童たちは毎時間、とても楽しそうに活動を行いました。



【 始業式 】

2学期を迎えるにあたって、始業式で副校長先生、岡本先生から、「学校生活をよりよく過ごしていくにはどうしたらいいのか」「なぜ勉強するのか」「なぜ学校に行くのか」といった内容の話がありました。

児童・生徒たちも姿勢を正して、真剣に話を聞いていました。

